

## 平成23年度 府立 大冠 高等学校 経営計画

### 1 めざす学校像

創立当初より掲げている School Motto (スクール モットー)「Find a Way or Make One (見つけよう つくりだそう 明日への道)」のもと、「自らの手で明日への希望や目標を見だし、その希望(夢)や目標に向かって邁進する」生徒を育てる。特に、「ステップ フォワード ～ 一人一人が『意欲』をもって～」を合言葉に、生徒と教職員とがともに、今在る所から一歩前へ踏み出し、現状を少しでも前に進めるとい意志と意欲をもって物事に取り組む。生徒の育成に当たっては、

- (1) 意欲をもって、夢や目標や可能性に挑戦する精神を育む。
- (2) 授業に臨む際の集中力を高め、自ら進んで学習する態度をより一層確立する。
- (3) 地域や社会に積極的に貢献し、信頼される人材を育成する。

ことをめざす。

そのために、学校総体として、生徒一人一人の基礎学力や学習意欲の向上、規範意識や相互の人権尊重意識の向上、充実した内容の教育課程の編成、部活動の活性化、地域連携・中高連携・高大連携の充実等、上述のめざす生徒像を実現するための学校力を常に向上させることのできる学校づくりをめざす。

### 2 中期的目標

#### (1) 「魅力ある授業づくり」の推進

- 基礎学力の育成を充実させるため、少人数指導や補習をはじめとして、指導方法をきめ細かく工夫する。
- 言語活動の充実、英語教育の充実、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の向上、国際理解教育の推進を主な目標として掲げ、取組みを工夫する。
- ICTを活用した授業づくりを含め、校内での公開授業・研究授業を推進する。
- 生徒の授業への努力度と満足度を年々引き上げる。

#### (2) 夢と志(目的意識)を持つ生徒の育成とキャリア教育、人権教育等の指導計画の確立

- 志学、キャリア教育、人権教育等の指導計画を「学年ごとの計画」から「3年間を見通した計画」に見直し確立する。
- 平成23年度の新1年生から計画を立て、効果検証を行い、平成25年度に計画を完成する。

#### (3) 教育相談機能のさらなる充実 及び 誇れる「きれいな学校」づくりの取組み

- 教育相談委員会や特別支援委員会の機能をさらに充実させ、障がいのある生徒や課題を抱える生徒の自立を支援できる体制をより一層確立する。
- 相談室の利用をさらに促進し、SCSVやSCの学校訪問の回数を増やす。
- 洋式トイレの導入を含め、3年計画でトイレを明るくリニューアルし、これを契機に「物をきれいに大切に使うこと」をはじめとして美化についての意識を高め、生徒による美化運動を展開し、「きれいな学校であること」を誇りに思えるようにする。

#### (4) 地域連携の推進 及び 地域への「役立ち感」の醸成

- 授業、クラブ、生徒会等において、地域の方々と触れ合う機会を増やし、生徒に「自分たちが本校で学習したり活動したりしたことを地域の方々に役立てることができる(貢献できる)」ことを実感させ、自主的な行動に繋げさせる。
- 既存の交流ホールをはじめとして、地域交流の拠点にできる場所を開拓し、室の改修も視野に入れ、地域交流の内容・方法・場所等について検討する。

#### (5) 「学校経営委員会」の設置 及び 学校説明会の内容及び広報活動の充実

- 「学校経営委員会」を設置し、短期・中期・長期を視野に入れた学校経営を考えることができるようにするとともに、既存の分掌等に割り振ることのできない新たな課題に対応できるようにする。
- 学校経営に関する研修を行うなどして、学校経営の具体的な検討に参画する教職員の意欲の向上を図る。
- 学校説明会や広報活動(特に、広報誌やホームページ)の充実を図る。特に、授業の紹介、生徒の発表の様子の紹介をたくさん盛り込む。

#### (1)～(5)を通して、3年後には、

- 家庭学習の時間について、全校生徒の延べ時間を倍増させ、「0時間」の生徒の割合を0%にする。
- 懲戒の件数と人数を半分以下にする。
- 入学者選抜における「本校の志願倍率」が「後期選抜の1学区の平均志願倍率」を上回るようにする。

### 3 本年度の重点目標と取組み

	目標	取組計画	評価指標
取組み① (学習指導等)	「魅力ある授業づくり」の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○習熟度別少人数指導に取り組むとともに、基礎学力の育成を充実させるための方法を研究し工夫する。</li> <li>○言語活動の充実、英語教育の充実のための取組みを研究し工夫する。</li> <li>○授業において、生徒が発表する場をたくさん設けるよう、授業方法を工夫する。</li> <li>○ICTを活用した授業づくりを含め、校内での研究授業・公開授業を推進する。</li> <li>○生徒の授業への努力度と満足度を把握できるよう授業評価の内容を工夫し、それぞれの度合いを高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○習熟度別少人数指導の状況等</li> <li>○取組み内容及び生徒の変容の状況</li> <li>○授業での生徒の発表の状況</li> <li>○研究授業等の回数(延べ4回以上)と内容等</li> <li>○生徒の授業への努力度と満足度</li> </ul>
取組み② (進路指導・生徒指導・人権教育等)	夢と志(目的意識)をもつ生徒の育成とキャリア教育、人権教育等の指導計画の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成25年度での計画完成をめざし、平成23年度の志学、キャリア教育、人権教育等の計画・実行・検証を行う。</li> <li>○高大連携の取組みをさらに充実させる。</li> <li>○善悪の区別など、道徳性や倫理観、規範意識や人権尊重意識を身に付けさせ、豊かな心を育み、温かい人間関係を醸成するため、1年入学時からこれらのことを生徒に浸透させられるよう取組みを工夫する。</li> <li>○人権意識やいじめ防止に関する生徒へのアンケートを充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成23年度の成果と課題の集約</li> <li>○高大連携の内容</li> <li>○懲戒の件数と人数の減少</li> <li>○アンケートの実施及び活用状況</li> </ul>
取組み③ (教育相談・保健指導・施設管理等)	教育相談機能のさらなる充実  誇れる「きれいな学校」づくりの取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育相談委員会や特別支援委員会の機能をさらに充実させ、障がいのある生徒や課題を抱える生徒の自立を支援できる体制をより一層確立する。</li> <li>○相談室の利用をさらに促進する。</li> <li>○SCSVやSCの学校訪問の回数を増やす。</li> <li>○洋式トイレの導入を含め、「癒しのゾーン」近くのトイレを明るくりニューアルする。</li> <li>○これを契機に、「物をきれいに大切に使うこと」をはじめとして、美化についての意識を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○左記の各委員会の開催回数と内容等</li> <li>○相談室利用状況</li> <li>○SCSV等の学校訪問の回数</li> <li>○予算の獲得</li> <li>○生徒の美化意識の高揚の状況</li> </ul>
取組み④ (地域連携)	地域連携の推進 及び 地域への「役立ち感」の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業、クラブ、生徒会等において、地域の方々と触れ合う機会を設けるとともに、生徒に「自分たちが本校で学習したり活動したりしたことを地域の方々に役立てることができる(貢献できる)」ことを経験させる。</li> <li>○地域交流の拠点とすることを視野に入れ、既存の交流ホール等、校内施設の活用方法を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アンケートを実施し生徒の声を集約</li> <li>○地域交流のための施設の活用状況</li> </ul>
取組み⑤ (学校運営・広報活動等)	「学校経営委員会」の設置  学校説明会の内容及び広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3年後や5年後を見据えた学校経営を考え、様々な諸課題について検討するための組織として「学校経営委員会」を設置する。</li> <li>○学校経営の検討に参画する意欲の向上を図るための取組みを行う。</li> <li>○学校説明会について、開催する時期と回数を再検討し、生徒の授業での頑張りや発表の様子、PTA役員からのメッセージ等を盛り込むなどして内容をさらに充実させる。</li> <li>○ホームページのさらなる充実を図る。特に、授業の紹介、生徒の発表の样子の紹介を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学校経営委員会」の設置及び機能の状況</li> <li>○取組み内容等</li> <li>○学校説明会の回数(他校との合同実施を含め8月以降8回)と内容の改善状況</li> <li>○左記の内容の紹介の数</li> </ul>
①～⑤を通じて			<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭学習の時間の増加。特に、家庭学習「0時間」の生徒の減少。</li> <li>○懲戒の件数と人数の減少</li> </ul>